



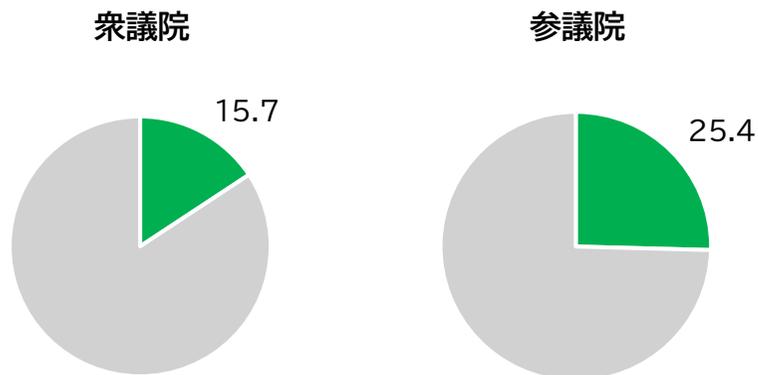
決める



国会議員に占める女性の割合

2024年時点

国会議員に占める女性の割合(%)



出典：総務省 令和6年10月27日執行 衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査 速報結果
https://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/data/shugiin50/index.html (2025.2.13取得)

議員に占める女性の割合の国際比較(下院または一院)

英国	24位	40.5%
フランス	41位	36.1%
ドイツ	46位	35.3%
イタリア	56位	32.4%
カナダ	63位	30.7%
米国	73位	28.7%
日本	141位	15.7%

出典：Inter-Parliamentary Union “Monthly ranking of women in national parliaments 12,2024”
https://data.ipu.org/women-ranking/?date_month=12&date_year=2024 (2025.2.13取得)

国会議員における女性議員の割合は、2024年12月時点で衆議院で15.7%、参議院で25.4%となっています。国の計画では、候補者に占める女性の割合を、2025年までに35%と目標を定めています。2024年10月の衆議院総選挙では、初めて女性の候補者が300人を超え、23.4%となりました。

国際比較(2024年)をみると、日本(衆議院議員に占める女性の割合)は186か国中141位と、G7加盟国で最も低くなりました。

市議会、地方議会における女性の割合の変化

川崎市議会における女性の割合の変化(%)



地方議会における女性の割合(全国平均)

	1999年12月	2023年12月
都道府県議会	5.5%	14.6%
市議会	9.8%	19.1%
政令指定都市議会	14.1%	22.9%
町村議会	4.2%	13.6%
特別区議会	19.7%	36.2%
合計	6.2%	17.4%

各区の女性の議員数の変化

	女議員割合(%)			各区議員定員(人)	
	1999年		2024年	1999年	2024年
川崎区	18.2	↗	33.3	11	9
幸区	14.3	↗	28.6	7	7
中原区	10	↗	20	10	10
高津区	33.3	↘	11.1	9	9
宮前区	10	↗	22.2	9	9
多摩区	10	↗	33.3	9	9
麻生区	42.9	→	42.9	7	7

川崎市議会議員における女性の割合をみると、1999年の18.8%から2024年には26.7%に増えているものの、全体としては、30%に満たないという実態があります。

さらに、各区でみると、麻生区では42.9%、川崎区、多摩区で33.3%を占めていますが、幸区が28.6%、宮前区が22.2%、高津区は11.1%と低い状況にあることがわかります。

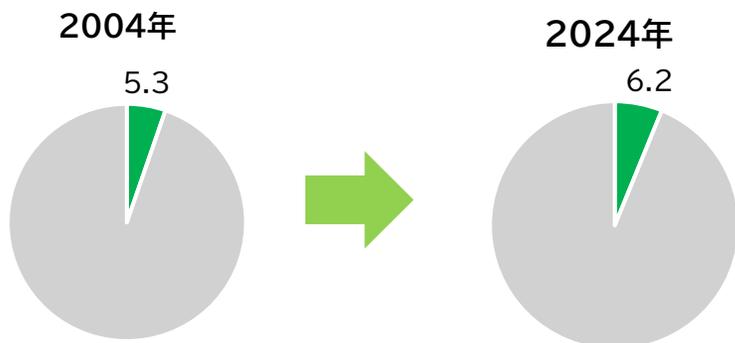
市区町村女性
参画状況見える化マップ
(内閣府)



出典：内閣府「平成12年度・令和5年度 女性の政策・方針決定参画状況調べ」
選挙ドットコム 神奈川県川崎市議会議員選挙(1999年04月11日投票)
<https://go2senkyo.com/local/senkyo/10184> (2025年1月11日取得)

防災分野、自治会長に占める女性の割合の変化

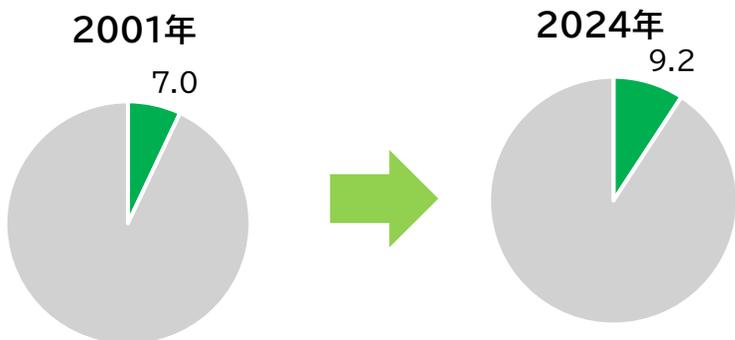
防災会議委員に占める女性の割合(%)



防災・危機管理部局における女性職員の割合(%)



自治会長に占める女性の割合(%)



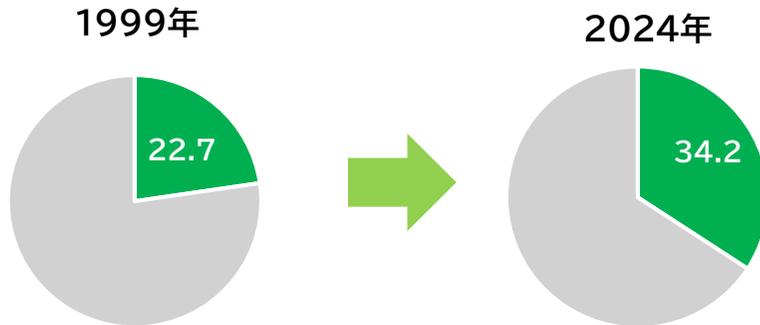
川崎市の防災会議委員に占める女性の割合は、2024年で6.2%と、2004年の5.3%から0.9ポイント増加しましたが、まだ少ないことがわかります。

防災・危機管理部局における女性職員の割合をみると、2021年の5.6%から2023年に7.7%と増加していますが、まだ10%に届いていません。また、自治会長に占める女性の割合は、2001年の7.0%から2024年に9.2%と、こちらも増加していますが少ない状況にあると言えます。

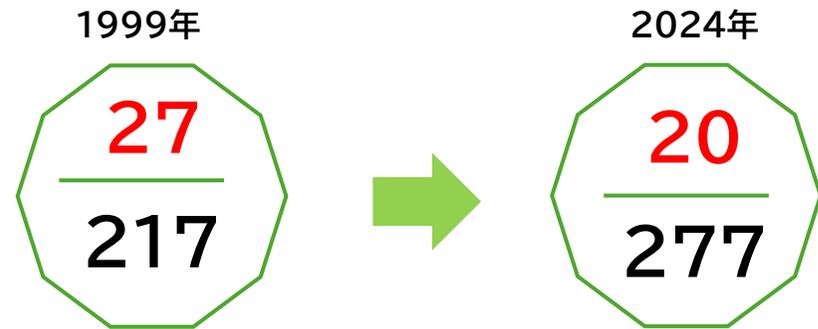
出典：内閣府 ガイドラインに基づく地方公共団体の取組状況調査（令和5年）
https://www.gender.go.jp/policy/saigai/fukkou/chousa_r05.html（2025.3.29取得）
川崎市「第5期川崎市男女平等推進行動計画～かわさき☆かがやきプラン～年次報告書」
<https://www.city.kawasaki.jp/250/page/0000171771.html>（2025.3.29取得）
川崎市「令和5(2023)年度 第11期川崎市男女平等推進審議会ヒアリング結果報告書」
<https://www.city.kawasaki.jp/250/cmsfiles/contents/0000171/171771/R5nenjihoukokusyo.pdf>（2025.3.29取得）

審議会委員に占める女性の割合等の変化

川崎市審議会委員に占める女性の割合(%)



女性委員ゼロの審議会等の数



出典：川崎市「川崎市審議会等委員への女性の参加状況調査報告書」（平成19年、令和5年）
<https://www.city.kawasaki.jp/250/page/0000001311.html>（2025.3.29取得）

意思決定の場である審議会の女性委員の割合は、1999年の22.7%から、2024年の34.2%と11.5ポイント増加しています。また、女性委員がゼロの審議会等についても、1999年の27/217件(12.4%)から2024年の20/277件(7.2%)に減少し、女性委員がない審議会等は減少しています。

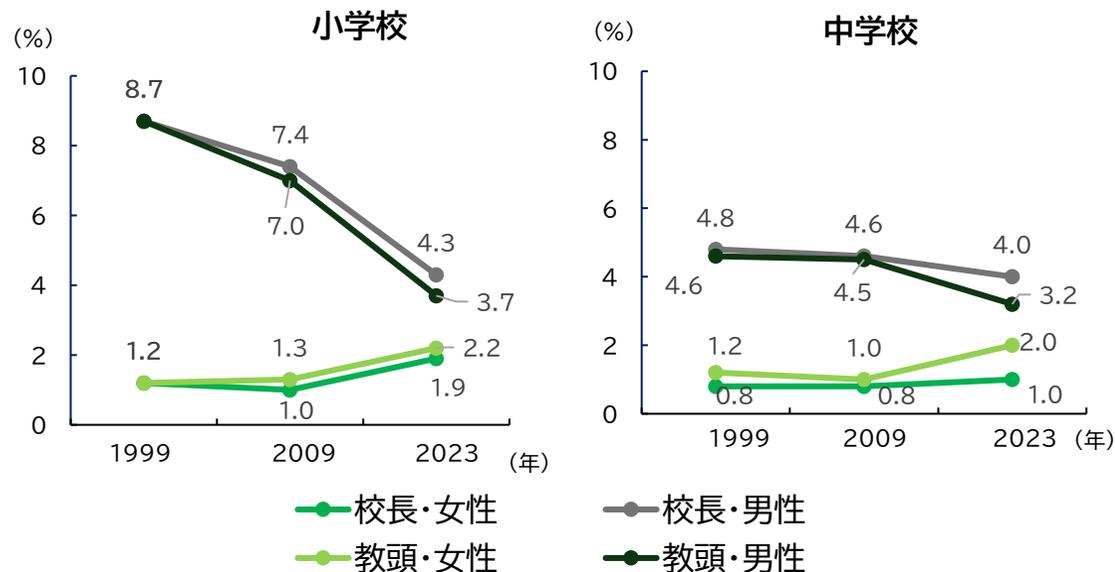
しかしながら、川崎市は女性委員ゼロの審議会等をなくすこと、2025年度までに審議会等での女性委員割合を40%とすることを目指していますが、2024年時点でまだこれらの目標には届いていません。

市立小中高校の管理職に占める女性の割合の変化

市立小中高校における女性管理職割合 (教頭以上)

	1999年	2023年
小学校	20.9%	47.8%
中学校	11.8%	24.8%
高等学校	0% ※2000年	23.1%

校種別管理職輩出率



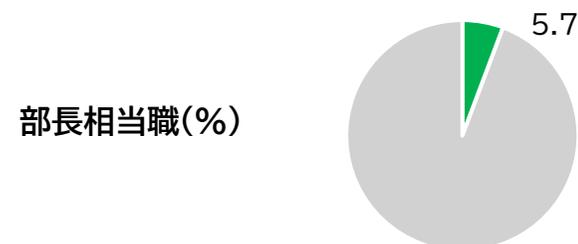
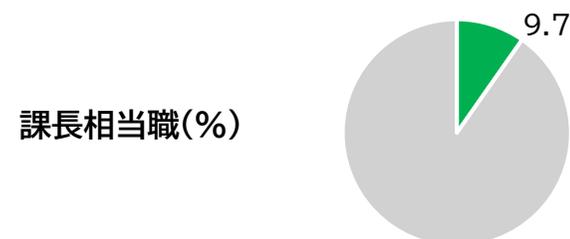
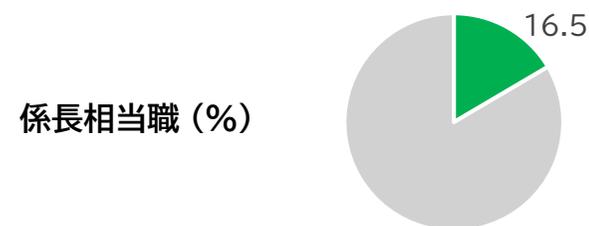
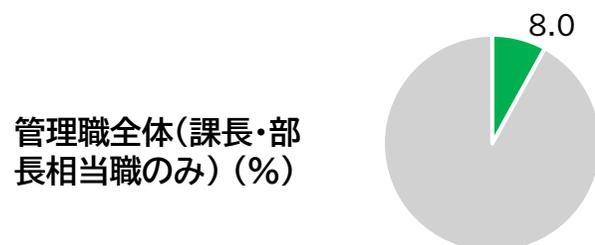
出典：川崎市「平成11年度学校基本調査統計表」
<https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000023236.html>
 川崎市「令和5年度学校基本調査統計表-第3表 小学校 / 第4表 中学校」
<https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000164627.html> (2025.3.29取得)
 川崎市「川崎市男女平等推進行動計画 平成27(2015)年度年次報告書」
<https://www.city.kawasaki.jp/250/page/0000082582.html> (2025.3.29取得)

出典：川崎市「平成11、平成21、令和3年度学校基本調査結果」を元に作成
[https://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/51-4-7-7-2-0-0-0-0.html](https://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/51-4-7-7-2-0-0-0-0-0.html) (2025.3.29取得)

小中高校においては、校長・教頭(学校によっては副校長)が管理職です。管理職輩出率(職員数に占める管理職割合)を校種別にみると、1999年は小学校の校長・教頭ともに女性と男性の管理職輩出率に7.5ポイントの差がありましたが、2023年には差がそれぞれ3ポイント以下に減少しています。中学校でも、1999年に比べ、2023年には男女の差が小さくなっています。

企業の管理職に占める女性の割合(平均値)

2020年時点



企業の管理職に占める女性の割合を役職別に見ると、上位の役職ほど女性の割合が低く、2020年時点で、係長級16.5%、課長級9.7%、部長級5.7%となっています。係長を含む場合でも、1割程度にとどまっています。

出典：川崎市「令和2年度川崎市労働白書」
<https://www.city.kawasaki.jp/280/cmsfiles/contents/0000127/127515/zentaiban.pdf> (2025.2.25取得)